

---

○ 四国にヒトツバノキシノブがある (里見信生) Nobuo Satomi : *Saxiglossum taenioides* Ching var. *Sasakii* (Hayata) Masamune, New to Shikoku (Mt. Tairyūji, Pref. Tokushima)

下沢伊八郎氏が採集された (台湾 : 新竹州竹東郡シャカロー ; Jul. 13, 1938) ヒトツバノキシノブを見ていて、これに一致する植物を私自身、かつて採集したことがある事を思ひ出したので、今夏帰省中、郷里においてある未整理標本をかき廻してみたところ、果してヒトツバノキシノブの一葉が出て来て喜びの声をあげた。その産地は徳島県那賀郡大竜寺山である。この山は阿部近一氏によつてタヌキノシヨクダイ *Glaziocharis Abei* Akasawa が最初に見出され (昭和18年)、その後も珍品稀品が出ることから採集家の間で特に有名になつた。私も数度登つたが、問題のこの羊歯を得たのは昭和21年10月6日で、既に10余年前のこととなる。従つてその時の記憶も薄らぎ、大竜寺山のどの辺で探つたか、はつきりしない。然し、この時は新居文夫氏と颱風の通過後に行つたので倒木に着生していたムギラン、マメズタランと共に樹皮よりはぎ取つたと思う。今夏、倉田悟氏と一緒に大竜寺山に登り、この羊歯の話をしたが、彼は疑わしいと言う。再発見したいものである。種々御教示をいただいた正宗敬先生、倉田悟氏、下沢伊八郎氏に深謝致します。